闘いなくして安全なし

2020.07.29
Ｎｏ．２７０

〔発　行〕動労千葉を支援する会
千葉市中央区要町２－８ＤＣ会館
http://dourousien28.kane-tsugu.com/renrakuban/
dc-info@deluxe.ocn.ne.jp

ジョブローテーション、乗務員勤務制度改悪、ダイ改合理化、ローカル線切り捨て反対！　定年延長と 65 歳まで働ける職場を！

“人口減少”“乗客減少”をワンマン化の口実にするな!

ＪＲ東は「変革２０２７」で、人口減少で乗客が減り、鉄道業務は「急速に利益が圧迫されるリスクが高い」としています。７月のＪＲ東グループ社長会でも「鉄道事業のコスト構造にメスを」「働き方の柔軟化を進める」と語っています。狙いは明らかに人員削減や雇用・労働条件解体、ローカル線切り捨てです。ワンマン運転推進もその一つに位置づけられています。

〝人口減少〟は「採用が難しくなるから要員削減は仕方ない」というウソにも使われています。しかし、「乗客が減るからコスト削減」というのはまったく別問題です。利益を優先して必要な要員を削減するというだけだからです。

こちら

東京女子医大　看護師400人退職希望　なぜ

「コロナ禍の中、東京女子医大が夏のボーナス（賞与）をゼロにすると通知し、退職を希望する看護師が四百人に上る可能性がある」と、労働組合が明らかにした。医療機関の経営悪化は全国で起きているが、医師や看護師への支援は十分ではない。一方、東京都の新規感染者は十六日に過去最多の二百八十六人になっている。医療崩壊の懸念を抱えたまま、「第二波」に対応できるのか。（榊原崇仁、安藤恭子）

コロナ禍のボーナス支給を巡って揺れる東京女子医大病院＝東京都新宿区で

コロナ激務でも賞与0か

一九〇〇年創で、「日本で唯一の大学」としている医大（東京都新宿を超える病床を搬送の受け入れ）る同大病院周辺を特報部が訪れると変わらず白衣姿学生らが行き交う。賞与と退職希望尋ねると、一様に内を明かす。某技師は「ボーナスん知ってる。稼が出るのは当然た。男性医師の気なんて上がるはですよね」と話。

通院している人は「やっぱりかすよね。ただでボー学の中の話。患者何か言ったとい人たちに届くと心配そうに語のために病院を現代女性は「前々から厳しいと聞いて主治医は別の病院まった」と話。

実際何があった組側に確認する渉中で慎重な対応る余得ないため、ホームページ（こ

２０２０年7月１７日
東京新聞　こちら特報部

安全・労働条件を犠牲に利益優先するな

「利益」がすべての基準にされる社会のあり方は根本的に間違っています。象徴的なのは医療・介護の現場です。政府は「医療費削減」を掲げ、「一般病床が多すぎる」と病床削減を病院に迫ってきました。しかし、コロナ感染症の患者の多くは一般病床に入院して治療を受けました。政府の意向通りに病床削減が進んでいれば、事態がさらに深刻だったことは明らかです。

東京女子医大はコロナ感染症による経営悪化を理由に「夏季手当ゼロ」と回答しました。現場労働者は感染の不安や誹謗中傷の中で、「命を守るために」と激務に耐えてきたにも関わらずです。これをきっかけに「看護師４００人が退職希望」と報道されました。これでは医療は成立しません。「医療は社会保障として維持されるべきだ」と声があがっています。

鉄道は公共交通機関であり、社会的なインフラです。地域生活に必要な列車を守り、安全に列車を運行させることこそ「最大の使命」です。

「利益」をすべての基準にして、「乗客が減ったから列車も要員も削減していい」「儲からないから切り捨てていい」というあり方は絶対に認められません。「人口減少」をワンマン運転拡大の口実にするなど言語道断です。